

令和6年度 学校評価

本年度 重点目標	1. 全校生徒の学力向上【授業最優先・分かりやすい授業の展開】 2. ICT教育の強化 3. 授業改革と教員の授業力向上 4. 挨拶と礼儀を重んじた明るい生徒の育成 5. 校内環境の整備 6. 姉妹校との高大連携と進学促進 7. キャリア教育とインターンシップの強化 8. 部活動の活性化と強化及び安全管理と事故防止 9. いじめ防止対策、長期欠席者の迅速な対応 10. 教員の生徒募集に関する意識の向上 11. 教職員としての意識向上・健康管理、教職員間の信頼関係 12. 地域との連携・交流の推進 13. 生徒・保護者との信頼関係構築 14. 新型コロナウイルス・インフルエンザなどの感染症の感染予防	
担当分掌	重点目標	重点項目
教務	・学力向上 ・授業改善の取り組み ・業務の効率化	基礎学力指導の実施 実力試験の有効活用 学習習慣の定着 研究授業・授業アンケートの実施 校内研修の実施 教科会の活性化 教務内規等の検討・策定 手引等書類の充実 教務倉庫の整理・整頓
情報管理	・学内コンピュータネットワークの 運営・保守・管理を行う ・情報機器の活用のための ガイドライン・マニュアルの整備を行う ・既存のシステムの活用および 更新の検討を行う	ネットワークの保守・管理 サーバ類の保守・管理 情報機器の保守・管理 各種ガイドライン・マニュアルの作成、整備 一斉配信メールの活用 ホームページの活用 新規システムの検討・更新

担当分掌	重点目標	重点項目
総務	<ul style="list-style-type: none"> ・校内環境の整備 ・衛生的な校内施設の利用啓発 ・経費削減の啓発および具体的な実施 ・非常時における危機管理意識の向上 	設備・施設の管理・営繕および正しい利用法の啓発
		校内の設備充実
		ゴミの適切な分別と環境美化の徹底
		廃棄物の減量とリサイクル意識の向上
		適切な備品・消耗品の調達と修繕
		経費節減(省エネ・節約)
		式典の計画・実施及び改善
		次年度行事予定の見直し・調整
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・進路への位置づけ ・進路未定者の減少 ・姉妹校への入学者増 ・正社員雇用内定率の向上 	各学年に適した進路ガイダンスの実施
		『進路の手引き』など内部・外部の情報誌を有効活用
		保護者対象進路説明会などでの進路情報の提供および姉妹校入学の特典の周知
		職業観を高めるためのインターンシップの実施
		キャリア教育の推進
		入試改革に向けた情報の提供と対策強化
		各学年、担任による複数回の個人面談の実施
生徒会	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の円滑な運用および主体的参加者の増加 ・生徒会活動と各委員会の活性化 ・部活の活性化 ・ボランティア活動の推進 	コロナ禍での学校行事の在り方を考えるとともに、より多くの生徒が学校行事に主体的に参加することを目指す。
		週一回の生徒会定例会と、生徒会新聞の発行による情報発信と生徒会研修生・実行委員の積極的な育成と生徒による自治組織の運営
		持続可能な部活動への予算配分による部活動の活性化
		あいさつ運動や校外美化清掃やボランティア活動への参加
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ・常に菊華高等学校生であることを自覚し、行動できる生徒を育てる ・交通安全指導の充実 ・正しい倫理観や道徳観を身につけ「社会に役立つ人材」の資質を身につける 	挨拶の励行、ルールの遵守、基本的な生活習慣、安全指導等、生徒の社会性の向上を図る
		自他の権利を理解し、お互いに思いやり共生する心の育成
健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の健康観察 	保健室の利用状況の把握
		新型コロナウイルス・インフルエンザなど感染症対策に関する対応について
		カウンセラーの活用

担当分掌	重点目標	重点項目
渉外	・募集定員の入学者数(特に推薦受験者)確保	各学科・コースの入学者数増加
		推薦(特別専願含む)および一般受験者数増加
	・渉外行事の充実	学校体験会・学校説明会等の行事への参加者数増加
		行事参加者(満足度)からの受験者数増加
	・募集アイテムの充実	学校紹介&学校体験会フライヤー・学校案内パンフレット等の充実および活用(各学科・コースのPR強化)
		認知度を高めるためのホームページの充実
いじめ防止対策	・日常の観察	アンテナを高く持ち問題を感じたら、学年主任へ報告。学年で問題を精査し、必要であれば、いじめ防止対策委員会へ報告
	・問題の緊急性に関する対応	激しい誹謗中傷、暴力など早急な対応が求められる事案に関しては、即いじめ防止対策委員会を招集し、対応を協議
	・アンケート、スクールカウンセラーの活用	問題の全貌を知るためにアンケートやクレベリン等を実施したり、スクールカウンセラーとのカウンセリング活用で被害者、加害者共、心のケアにつとめる
事務	・サービス部門と位置づけ、内部・外部に対しサービス精神をもって業務に取り組む	電話・来客対応を通して学校のイメージ向上への貢献 内外に対する親切で行き届いた対応
	・事務室と職員室との連携強化と相互協力の推進	確実な情報伝達(ホウ・レン・ソウ)をモットーに、 組織のスムーズな運営への寄与
	・公的補助金獲得の最大化	就学支援金・授業料軽減等の対象生徒の申請100%達成 補助金制度に精通し、的確な申請にて取りこぼしを防ぐ
	・予算管理の的確化	学園全体の制約の中で、学校経営に応える予算の立案 及び適切な執行管理
	・出納業務の標準化・効率化	校費・PTA・後援会・同窓会等の申請・出納・実績管理の 標準化・効率化
	・積立金管理における的確な対応	学科別・コース別・個人別に積立金の執行管理を行う中で、 的確な対応を行う。